

「横浜観光ナビ」スマホ Web アプリを開発します！

ラグビーW杯や東京2020オリンピック・パラリンピックを迎える中で、クルーズ旅客を中心とした国内外からの多くの来街者に対し、限られた滞在期間の中で横浜のまちを散策し、楽しんでいただくためのツールとして、オールインワン「横浜観光ナビ」スマホ Web アプリを公民連携事業により開発します。これは、本市港湾局の人材育成研修「横浜みなと塾」における若手職員のアイデアにより企画されたもので、平成31年4月からの運用を目指します。

1 Web アプリの特徴

- (1) 街中に設置した案内板等のQRコードを読み込むと、利用者の使用言語で Web アプリが起動します。(最大15言語を表示可能)
- (2) 観光客の好みやニーズ、空き時間に合わせ、地図で観光ルートを提供します。
- (3) おススメするスポットやイベント・グルメ情報が投稿されるSNSとの連動により、横浜の新たな魅力や最新の観光トレンドが一目で分かります。
- (4) 外国人観光客が気軽に買い物できるよう、キャッシュレス決済に対応します。
- (5) Wi-Fiの無いオフライン環境においても観光情報をスマホに表示出来ます。
- (6) 災害時には、多言語化した避難先情報などを提供出来ます。

① QRコードを読むとスマホの使用言語でアプリが起動

② 観光客のニーズにあったルートを提供



※画像はイメージです。

裏面あり

2 連携先

(株) P I J I Nとの協定事業により Web アプリを開発します。

※横浜市が運用する公民連携提案窓口「共創フロント」を通じて、QRコードの活用による多言語に対応した賑わい創出事業を提案いただきました。



左側：株式会社 PIJIN 松本社長
右側：横浜市 伊東港湾局長

(1) 協定締結日 平成 30 年 9 月 18 日 (火)

(2) 主な役割分担

横浜市：Web アプリへのアクセス箇所の確保やクルーズ旅客を中心とした来街者へのプロモーションを行います。

(株)PIJIN：Web アプリの開発及び運用と、それに係る費用を外部から資金調達をして提供を行います。

3 スケジュール

平成 3 1 年 4 月～ 運用開始予定

お問合せ先
港湾局政策調整課長 成田 公誠 Tel 045-671-2877